

# 我が町再発見「成人に想うこと」



みずから漉いた小川和紙の卒業証書  
 を手に、中学校を卒業してから早いもの  
 で5年がたとうとしています。母校上野  
 台中は閉校となりましたが、ともに学び、  
 ともに遊び、同じ時を過ごした仲間との  
 友情はかけがえない宝です。

そして、今こうして、成人として新た  
 な一歩を踏み出すことができるのも、両  
 親をはじめ多くの人々の支えがあったからこそです。

感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生、自分の道を  
 精いっぱい歩いていきたいと思ひます。

成人式実行委員会 委員 井田有香



## 議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑬

## 小川町青少年相談員 子どもたちの健やかな成長を願って

青少年相談員とは、埼玉県知事からの委嘱を受け、地域の子どものよき友、よき理解者となって、子どもたちの健やかな成長をサポートするため、さまざまな活動をするボランティア（18歳～36歳までの男女）で、現在16人が活動中です。12月20日、八和田公民館で子どもたちとクリスマス会行事の準備をする相談員の皆さんから話を伺いました。



**Q** どんなことをやっているのですか。

**A** いちご狩り・サマーキャンプ・クリスマス会が3大行事。ほかに、はつらつ朝市で遊びのイベントや、今年は田植えや収穫なども子どもたちと一緒に行ないました。

**Q** 相談員になってよかったことは。

**A** 最初は子どもたちと一緒に楽しむというところから。経験を積むにつれて子どもたち全体に目配りができるようになりました。初めはぎくしゃくしていても、1泊2日のキャンプが終わるころには相談員も子どもたち同士もすっかり打ち解けて、楽しかった、また来たいと笑顔で言われると苦労も吹き飛びます。町で声をかけられるのもうれしいですね。

**Q** 皆さんにアピールしたいことは。

**A** 若い人が地域に少なくなってきているようで、後継者づくりが少し心配です。一緒に楽しんでボランティアやってみようよ。自分自身も成長できますよ。

担当：柳田多恵子

## 編集後記

私は、編集委員として「議会の今を伝えます」と、約束しました。

今号は、住民の皆様とともに細川紙のユネスコ無形文化遺産登録を喜び、これからのことを語りたかった。しかし話し合った結果、見開きは『新ごみ処理施設』について

となりました。どちらも町民にとって大切な事柄であると思います。

私たち議員は、議場において賛否を求められます。どちらを投じた議員も町民のことを考え、悩んだ末に結論を出したことを見ていただけたら幸いです。

編集委員 島崎隆夫



# 議会だより おがわ No. 74

小川町議会だより 74号  
 平成27年2月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会  
 〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地  
 TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877  
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長 小林 一雄  
 委員長 柳田多恵子  
 副委員長 大戸 久一  
 委員 戸口 勝  
 委員 高橋さゆり  
 委員 島崎 隆夫  
 委員 高瀬 勉

## 議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様への生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

**3月3日(火)** からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。